



Smile

第 16 号



JCHO 群馬中央病院
看護部 卒後臨床研修委員会
発行責任者 岡崎 友香
2017年6月29日(木)

今年度は、21名の新人看護職員が看護師としての第一歩を踏み出しました。新人看護職員は、実践を通して知識・技術・態度を修得できるよう日々努力をしている最中です。また、皆様のご協力の下、卒後臨床研修も始まっています。患者さんから信頼される看護師を目指し、多くの経験や学びが得られるよう研修の企画・運営を行っていきたくて考えております。

まだまだ社会人としてもスタートしたばかりであり、不安も多いかと思えます。今年度も皆様のあたたかいご指導、ご協力よろしくお願い致します。



採血・静脈留置針



排泄ケア



薬剤管理



吸引



酸素吸入



輸液ポンプ



今年度より看護技術に関してはナーシングスキルを活用しています。事前に自己学習を行ってくることで、学びが深まっています。

4月は多くの研修を行い基礎看護技術のほか、看護必要度、看護記録、薬剤管理、放射線防護、医療安全、入退院センターの役割などの必要な基礎知識を学びました

- ・採血、留置は1日かけて実施し事前学習だけでは理解できないところを実際に行き行って学ぶことができた。
- ・排泄ケアの方法一つで患者さんのQOLも変わることが改めて分かり、患者さんの尊厳を守れるようケアしたいと感じた。
- ・指示されたことだけでなく、広い視野を持って観察できるように努力していきたい。
- ・輸液ポンプは操作を間違えると患者さんを危険な状態にしてしまうため、適切に扱えるようにしていきたいと思った。
- ・工夫一つで、患者さんの安全につながる移乗ができることが分かった。もっと学習して患者さんにあったアセスメントができるようになりたい。
- ・看護記録は患者さんの状態を適切な用語や使い記録する必要があることを改めて学んだ。
- ・火災などの緊急時に対応できるよう、日頃の訓練が大切であると感じた。



酸素吸入



看護記録



尿留置カテーテル



防火時の看護



移乗・移送



フィジカルアセスメント



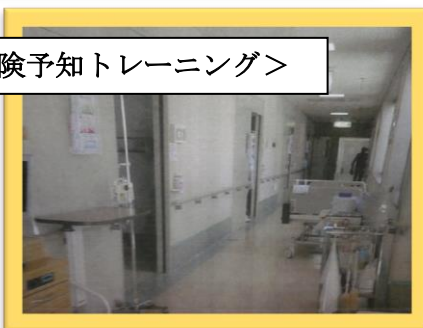
心電図

5月は心電図、フィジカルアセスメント、危険予知トレーニングを行いました。少しずつ実践に繋げるように頑張っています。

- ・危険予知トレーニングでは、自分達が普段業務をする中で、当たり前になっていることでも、患者さんにとって多くのリスクがあるという事が分かった。患者さんの生活しやすい病棟づくりが大切であると感じた。
- ・12誘導は病棟でも使用することがあるため、しっかり勉強し正しく装着出来るようにしたい。
- ・フィジコを使用し呼吸音、腸蠕動音の正常と異常を聴き比べることが出来て良かった。



KYT<危険予知トレーニング>



今後の予定

- 7月:メンタルヘルス 救急救命看護 接遇・マナー②
- 8月:キャリア開発にむけて① 麻薬の取り扱い 認知症看護 ディスカッション
- 9月:嚥下障害の看護 褥瘡対策